



危機管理・国民保護コースにおける 教育訓練

消防大学校では、地方公共団体の危機管理・防災実務管理者・国民保護担当者等に対する研修課程として、「危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース」を実施しています。

令和7年度の危機管理・国民保護コース（第15回）では、一般行政職、消防職員、警察から県危機管理部局への出向者、元自衛官から構成される学生44名が、消防大学校での8日間（令和7年4月21日～28日）の全寮制の集合教育を終え、全員が無事に修了しました。

研修では、内閣官房、内閣府防災、消防庁担当者等による国民保護法制、大規模災害発生時の政府による対応の概要・ケーススタディ、専門家による危機管理の概論・図上訓練手法・報道対応、また、昨年の能登半島地震で実災害の対応をされた職員による実務の紹介、総務省公務員部応援派遣室から災害時における職員の応援派遣など、各分野の講義を実施し、危機管理担当者の業務に必要な知識及び能力の修得に努めました。

課題討議では、各自治体が抱える課題解決に向けての対策・取組などを考える一助とするため、国民保護や大規模化する自然災害等のテーマについて、各班で討議・発表を行い、内閣府防災、消防庁のアドバイザーからの意見を参考に、各自治体が直面している問題点・課題を共有しました。

研修を終えた学生からは、「携わっている業務に関係する各省庁の方の講義を受ける機会はないので、とても有意義であると感じました。また、最新の情報を聞くこともできましたので、業務に還元していきたいと思います。」「質の高い研修を行ってくれた講師の方々には、大変感謝しております。特に奥能登での生々しい実体験は、今後の実業務に反映させたいと感じました。この研修で多くの仲間に出会えたことが財産となりました。」「今後自身が仕事で連携を密にしていくことが欠かせない、消防職員の方々や他自治体の防災担当部局職員とともに学ぶことで相互理解が深まったほか、能登半島地震に係る対応等についての表に出てこない実情を知ることができ、非常に有益であったと感じている。」等の意見が多く寄せられました。

今後、修了者それぞれが、本コースで培った知識、学生間のネットワークを活かし、各自治体の課題解決及び事業を推進していく責任者として活躍していくことが期待されます。



開講式



課題発表

問合せ先

消防大学校教務部
TEL:0422-46-1712

令和7年度 講師派遣について

消防大学校では、都道府県の消防学校等における教育訓練の充実のため、技術的援助として、消防学校等からの要請に基づき、警防、予防、救急、救助等の消防行政・消防技術について講師の派遣を行っています。

令和7年度も多く派遣要望が寄せられたところ、これに積極的に対応することとし、下表のとおり、46校125件（478時間）の講師派遣を決定しました。

このほか、各消防学校等において女性活躍推進のための取組（女性活躍推進に係る講義の実施や女性消防吏員のキャリアアップに関する先駆的な教育訓練に取り組みたい場合等）を行うため、消防大学校の教官等の派遣を必要とされる場合は、下表とは別に講師を派遣することも可能です。消防大学校教務部までご相談ください。

●講師派遣の予定

区 分		講 義 内 容	件数	時間数
総合教育	上級幹部科	危機管理、業務管理、管理職の役割、ハラスメント防止対策など	11	38
	中級幹部科	人事業務管理、現場指揮、消防時事、消防戦術と安全管理など	12	46
専科教育	警 防 科	消防戦術と安全管理、警防行政の現状と課題など	18	68
	特殊災害科	特殊災害の概論、特殊災害に対する消防活動要領など	8	32
	予防査察科	違反処理、予防査察行政の現状と課題、予防査察など	13	52
	危 険 物 科	危険物行政の現状と課題、危険物施設に対する査察・違反処理など	4	16
	火災調査科	原因調査、事例研究、原因調査関係法規、鑑定・鑑識など	33	132
	救 助 科	災害救助対策、安全管理など	10	38
	救 急 科	救急業務の現状と課題、救急業務と法律関係など	3	10
その他		現場指揮、防火対策、安全管理など	13	46
計			125	478

問合せ先

消防大学校調査研究部
TEL:0422-46-1713